

安八の昔話

138

大明神地区

文 日本児童文学者協会会員

小森 波鏝子

### 道が出来た

耕地整理で道が造られるまでは、これと言った道がなかったもんで田んぼに行く時は他人の田んぼを通って行ったんやさ。

黙って通っても通られてもお互いさまのことやから別に気にせんかった。

なにかを持っていく時も穫り入れた米を運び出す時もみんな天秤棒で担って行ったり来たりしたんやさ。

足や腰、体が頑丈やなかったら百姓仕事はつとまらない。道が出来たお陰で他人の田んぼを通らずに荷車を引いて行けるようになったが、ところによっては遠回りせんならん田んぼが出来たわな。

昭和二十七年、大掛かりな耕地整理がおこなわれた。



協力	西蚊塚区長	末松 勝美さん (73歳)
協力者	岩田 豊さん (84歳)	堀 進さん (78歳)
	坂 孝男さん (83歳)	

3月号中の特攻隊の「突」が間違っていました。訂正しお詫び申し上げます。

## ちょっと寄り道『安八町』

〜中須川千本桜(安八町氷取〜城地内)〜

町の中心を流れる中須川の両岸には、約70年前から桜の木が植栽され、その本数は年々増え、現在では延長3kmにわたり約1,000本の桜並木となっており「安八千本桜」とも呼ばれています。

並木道にはキャッスルパークやベロン子などがあり、訪れる方にゆっくりと流れる時間を感じていただけるよう配慮しています。また、開花時期の4月上旬にはさくら祭りも開催され、多くの人々が賑わいます。



▲ 桜橋を眺めて (安八町城地内) ※写真は平成24年4月に撮影したものです



安八町氷取 在住

杉山 邦子 さん

春は満開の桜の下で花見、夏は涼風が通り抜ける木陰道、秋は子どもたちが遊びまわり、冬は伊吹おろしから私たちを守ってくれぬ、中須川の千本桜の並木道。

自宅は中須川沿いにあります。以前は、2階の窓から手を伸ばし、手のひらにのった桜の花びらを眺めては、心が癒されたことを思い出します。

皆さんも、ぜひ、大切な人といっしょに中須川の千本桜の並木道で陽春を満喫してください。